

	新人	I	II	III	IV
定義	指示・指導を受けながら業務が実践できる段階	当院のマニュアルに沿って業務が実践できる段階	受け持ち看護師として自立し、日々のリーダーの業務ができる段階	所属部署のチームリーダーとしてリーダーシップが発揮できる段階	医療チームにおいて看護の立場でリーダーシップが発揮できる段階
到達目標	1 基礎看護技術が安全・安楽・確実に実践できる 2 指導を受けながら看護計画に沿った看護実践ができる 3 各部署の特殊性と業務内容を理解できる 4 担当看護師・受け持ち看護師としての役割が理解できる 5 組織の一員として自覚を持ち責任のある行動がとれる ②助産業務に関連する倫理に気づくことができる	1 日常の看護が根拠に基づき判断でき安全・安楽に実践できる 2 顕在化している問題を明確にし、個性性を踏まえた看護が展開できる 3 担当看護師の役割を果たすことができる 4 固定チームにおけるチームメンバーとしての役割が果たせる 5 自己の目標を明確にし、主体的に研修に参加できる ②助産業務に関連する倫理が理解できる	1 日々のリーダーの役割を果たすことができる 2 潜在している問題を明確にし、個性性を踏まえた看護過程が展開できる 3 受け持ち看護師としての責任を果たすことができる 4 自己の看護のテーマ(方向性)を見つけられる 5 プリセプターとしての役割を果たすことができる ②倫理的側面のアセスメントができる	1 チームリーダー・サブリーダーの役割を果たすことができる 2 後輩や学生の指導ができる 3 院内外研修に積極的に参加し実践に活かすことができる 4 研究的姿勢を持つことができる 5 予測をふまえた判断ができ長期的展望に立った看護展開ができる ②倫理的意思決定を支えることができる	1 看護師としての役割モデルになれる 2 医療チームと連携を図りながら看護実践できる 3 どの場面においても指導的な関わりができる 4 院外研修・学会に主体的に参加し、看護実践に活かすことができる 5 研究テーマを見つけ取り組むことができる ②倫理的意思決定の場面でリーダーシップが取れる
看護実践能力看護実践における技術的側面	収集 1 データベースの意味・目的を理解できる ①指導を受けながら、妊産褥婦・新生児について定められたフォームに沿って情報収集ができる	1 患者の全体像をとらえることができる ①妊産褥婦・新生児について一人で情報収集し、全体像をとら得ることができる	1 チームの患者情報を把握することができる ①助産師の専門的知識に基づき、妊産褥婦・新生児の家族の情報なども把握し、全体像に組み込むことができる	1 多方面から情報収集ができる ①妊産褥婦・新生児の状況に合わせて倫理的知識を追加し、情報収集できる	1 患者の問題領域に的を絞る、選択的に情報収集できる ①問題の領域に的を絞る選択的に情報収集ができる
	アンセスト 1 収集した情報をアセスメントし、看護診断を設定できる ①指導を受けながら妊産褥婦・新生児の情報を整理し、看護問題を見いだせる	1 問題の優先度を考慮したアセスメントができ看護診断を設定できる ①情報を健康生活行動・妊娠経過等から分析し、優先度を考慮したアセスメントができる	1 理論を基にアセスメントし看護診断を設定できる	1 理論や経験を活かし、多角的な視点で速やかにアセスメントし看護診断を設定できる	1 選択的に収集した情報に基づいて、適切な看護診断が設定でき指導できる
	立案 1 標準的な看護計画が立案できる ①指導を受けながら妊産褥婦・新生児の計画が立案できる	1 相談しながら個性性を踏まえた看護(助産)計画が立案できる	1 個性性を踏まえた看護計画が立案できる ①妊産褥婦及び家族参加型で看護(助産)計画が立案できる	1 チーム全体の看護計画の評価・指導ができる ①妊産褥婦及び家族参加型で看護(助産)計画が立案・修正できる	1 複雑なニーズを持つ患者の看護計画の立案ができ、指導できる
	評価 1 指導を受けながら評価できる ①支援を受けながら妊産褥婦・新生児の看護(助産)計画に沿ったケアが実践できる	1 実践したケアが適切であったか評価できる ①状況に応じた基本的な助産技術が提供できる	1 家族も含めてケアが適切であったか評価できる ①妊産褥婦・新生児の状態や反応を判断したケアを行うことができる	1 チーム全体のケアに対する評価ができる	1 部署全体の看護ケアに対して評価・指導ができる
組織的役割遂行能力看護職員として必要な基本姿勢と態度	チーム活動・人間関係知識・態度 1 看護部の理念や目標・部署の目標が理解できる 2 看護方式マニュアルの担当看護師・受け持ち看護師の役割を理解できる 3 報告・連絡・相談ができる 4 職員就業規則に基づいて行動できる 5 看護部服務規律に従い行動できる 6 他部門との連携の必要性が理解できる 7 患者・家族の考えや意見を聞き尊重できる 8 同僚、上司に関心を持ちコミュニケーションを図ることができる 9 安全対策をマニュアルで確認することができる 10 災害発生時リーダーの指示のもとに行動できる 11 日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を理解できる 12 自分の健康管理ができる ①妊産褥婦の年齢・社会的背景に合わせて誠意と親しみを込めた正しい言葉を使って対応できる ②指導を受けながら、周産期に起こり得る事故を予測でき対策が取れる(新生児の取り違い、盗難、窒息、熱傷など) ③助産師の行動は、ICMの助産師の国際倫理綱領・ICN及び日本看護協会の倫理綱領に基づくものであることを理解できる ④助産師業務に関連する法律および生命倫理を意識できる	1 看護部・部署の目標達成に向けて意識して行動できる 2 看護方式マニュアルに沿って担当看護師・受け持ち看護師としての業務ができる 3 メンバーシップを理解し実践できる 4 他部門との連携の必要性がわかる。必要時リーダーの指示の基連携がとれる。 5 患者・家族に関心を持ち話を聞くことができる 6 自分自身の感情・思考・行動の傾向を知ることができる 7 同僚・上司と良好な人間関係を築くことができる 8 安全対策についてのマニュアルに沿って行動できる 9 災害発生時に必要な知識を理解し、自ら指示を仰ぎ行動できる 10 日本看護協会の「看護者の倫理綱領」に基づいて実践できる 11 日常業務における倫理的ジレンマに気づくことができる ①落ち着いた妊産褥婦・家族と対応できる ②周産期で起こり得る事故を予測でき、対策が取れる ③助産師の倫理綱領を熟知して行動できる ④助産師の行動は、保助看法・医師法に基づくものであることを理解できる	1 看護部・部署の目標達成に関わることができる 2 リーダーシップを理解し実践できる 3 支援を受けてプリセプターの役割を実践できる 4 他部門との調整ができる 5 患者・家族の相談や悩みを受け入れ、問題を明確にすることができる 6 自分およびチームメンバーの立場や役割を認識し肯定的なかかわりができる 7 後輩・同僚・上司と良好な人間関係を築くことができる 8 安全に対する認識を高め、予防的行動が取れる 9 看護業務の改善について問題意識を持ち、提案できる 10 災害発生時に部署における自己の役割に応じた行動が取れる 11 日常業務における倫理的ジレンマを理論に基づいて考えることができる ①妊産褥婦の言動を手掛かりに潜在する看護問題を引き出すことができる ②妊産褥婦・家族の価値観を理解できる(個人的な価値観を押し付けない) ③指導を受けながら助産外来を担当できる *ラダーIを修了し、助産師経験4年以上	1 看護部・部署の目標達成に向けて行動できる 2 チームの運営が主体的にできる 3 業務改善について積極的に意見を述べる事ができる 4 リーダーシップが発揮できる 5 プリセプターに指導的にかかわることができる 6 患者・家族のために医師及びコメディカルに必要な交渉ができる 7 後輩や学生にコーチングスキルを活用して指導できる 8 アサーティブな主張ができる 9 安全に対する認識を高め、感染防止、事故防止のために指導的な関わりができる 10 災害発生時に部署において指示ができる 11 日常業務における倫理的ジレンマを理論に基づいて考え対応策を提案できる ①場の状況に応じてアサーティブなコミュニケーションをとることができる ②倫理的意思決定場面で、相手を支援することができる ③助産外来を責任を持って実践できる	1 病院・看護部・部署の目標達成に向けて主体的に活動を推進ができる 2 専門職として自己研鑽できるよう、部署のスタッフに働きかけることができる 3 管理的視点で、関連部門に働きかけることができる 4 相手の立場を尊重し、教育的に関わることができる[人材育成] 5 安全管理のための知識を有し、業務改善ができる 6 災害発生時、病院組織における自己の役割を認識し、行動できる。 7 日常業務における倫理的ジレンマを理論に基づいて考え解決に向け行動できる ①直接的な助産ケア活動をおこないながら、妊産褥婦・家族との支援的コミュニケーションを図ることができる ②倫理的意思決定場面においてコーディネートの役割をとることができる
	自己教育・研修・能力育的看護実践に 1 時間内に看護ケアを終わらせることができるよう1日の業務計画を立てる事が出来る 2 技術チェックリストを活用し学習できる 3 部署の学習会に参加できる 4 院内研修に主体的に参加できる 5 日常の看護の中で疑問や問題意識を持つことができる 6 「看護の基本となるもの」ハンダーソンを必読する ①妊産褥婦・新生児の正常経過・生理・正常値が理解できる ②周産期の代表的な疾患(切迫流産・妊娠悪阻・妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病・前置胎盤など)の病態生理・検査について理解できる	1 療養環境の不備や備品の破損に気づき報告できる 2 病院の仕組みや役割がわかる 3 業務を効率よく終了することができる 4 自己の学習ニーズに沿って学習できる 5 顕在化している問題に対して個別的な看護過程が展開できる 6 看護部リンクナースとして参加できる	1 療養環境に気を配り、不備に対処できる 2 病院の経営を考え経済的、効率的な行動がとれる 3 看護研究の意義や進め方を理解し実施できる 4 自己の看護のテーマ(方向性)を模索し自主的に研修に参加できる 5 他者の事例に対して自分の考えを述べる事ができる 6 看護部リンクナースとして参加できる	1 環境や物品の管理について問題提起し改善できる 2 病院の経営を考え経済的、効率的な資源の活用ができる 3 看護研究チームの一員として研究をまとめることができる 4 指導的役割遂行の為に必要な学習を深め活用することができる 5 看護の疑問に対し文献から根拠を見出し実践に活かすことができる	1 社会情勢や病院の経営を理解し、医療チーム活動・看護場面において効率性を考えて行動しスタッフに指導できる 2 部署の教育プログラムを指導者として企画・運営することができる 3 看護研究活動においてリーダーの役割を果たすことができる 4 自分の専門性を目指し取り組むことができる

\*「助産ケア」とは……助産師が、妊産褥婦・新生児とその家族に対して行う専門性の高い援助のことである

\*○内に番号があるものは助産師ラダー項目